

【世界のユネスコスクール】

以下の1)～4)の項目に従って国別にまとめています。

- 1) 経緯と概要
- 2) 焦点
- 3) 現在取り組んでいるプロジェクト
- 4) 過去のプロジェクト、成果など

ASPnet in Action : ユネスコスクールの活動を紹介するユネスコのページ

<http://en.unesco.org/aspnet/globalcitizens/>

【デンマーク】 <http://unesco-asp.dk/en/>

1) 2000年ASPnet加盟、36校

2)

- ・世界情勢と国連の役割
- ・持続可能な開発を目的とした教育
- ・平和と人権
- ・異文化理解

3)

・ **EuroMed School Forum**

ウィーンに本部をおき、異文化間の対話を目的とする。(相手の尊重と相互理解、政治・人権および文化教育に対する教育的アプローチの共有、学習や資格および技能向上を奨励し、異文化間への対話の積極的な参加を促す) オーストリア、ハンガリー、ヨルダン、レバノン、オランダ、トルコ、イスラエル、デンマークが参加

・ **バルト海プロジェクト**

バルト海周辺にある学校間のネットワークであり、環境問題の研究と持続可能な開発に関する教授活動を考案するために協力している。

・ **環大西洋奴隷貿易プロジェクト**

奴隷制度と奴隷貿易という不名誉な過去について知り反省するとともに、近代的な形での奴隷制と人権侵害を理解する。

・ **世界遺産教育プロジェクト (WHE)**

設立以来 754カ所の世界遺産が登録されている。参加校の国際ネットワークを強化し、新しい教材や複数教科にまたがる活動を共同で開発する。

4)

・ **Rafiki Nianjema 高校 (タンザニア) との交流・支援**

資金面で学校や地域を支援

- **ワークショップ**

レバノンの生徒との異文化間での「確信と持続可能な開発」についてのワークショップ、女性の生活と民主主義に関する教材を開発するためのワークショップを開いた。

- **フォーラム**

「持続可能な平和と発展のためのユースフォーラム」@ベイルートに、6カ国の青少年とともに参加。

青少年会議「地球を守ろう」@ブリュッセルに、14カ国の青少年とともに参加。

- **提携校への訪問（ベイルート）**

- 「南部バルト海 **South Baltic WebLab**」@リトアニア

- 「環境キャンププロジェクト **Project Environmental Camp**」@ラトビア

- **ヨルダンの青少年との交流**

- **コペンハーゲンにおける奴隷貿易に関連する場所などを米国とドイツからの訪問者に案内**

【ロシア】 <http://unesco.ru/en/>

1) 189校が ASPnet 加盟。

2)

- 教育・研修システムにおける研究、実施、普及活動
- UNESCO の一員である教員の技能向上のための創造的・科学的環境整備
- 異文化コミュニケーションの推進と平和への貢献
- ユネスコスクール間の国際交流をさらに進める

3) 該当情報なし

4)

- **ユネスコスクール 60 周年記念式典**

- **国際青少年エコロジーフォーラム International Youth Ecological Forum**

ブルガリア、ポーランド、スロベニア、スロバキア、モンテネグロ、フィンランド、ウクライナ、ロシアから 110 名が参加し、世界の大河について各地の研究発表が行われた。

【レバノン】

<http://lncu.org/index.php/en/lebanese-unesco-associated-schools-232153877/aspnet>

1) 1994 年設立。私立・公立の小～高、専門学校 50 校が加盟

2)

- 世界情勢と国連の役割
- 持続可能な開発を目的とした教育
- 平和と人権
- 異文化理解

3) — 4) 該当情報なし

*国内ユネスコスクールの活動などの情報はなかった。

【ガーナ】

<http://unescoghana.org/achievements.php>

1) - 3) 該当情報なし

4)

・ **第三回西アフリカ地域 ASPnet 合唱コンテストで優勝**

ユネスコトーゴ委員会が企画し、ベナン、ブルキナファソ、ガーナ、ナイジェリア、トーゴが招待された。(2009.8.3-7) 歌のメッセージは異文化間の対話、兄弟愛、国際理解、友情に関するもので、西アフリカの15~21才の生徒・学生が参加した。世界の利益のために平和と非暴力の文化を普及するための国際10年(2001-2010年)の一環。

*ユネスコスクールを紹介するページはない。Achievementsに情報があるのみ。

【カナダ】 <http://unesco.ca/home-accueil/aspnet-reseau>

1) 62校加盟 or 候補

2)

- ・ 異文化理解
- ・ 平和と人権
- ・ 持続可能な開発を目的とした教育
- ・ ASPnet と国連の役割

3) - 4) 該当情報なし

*ユネスコスクール概要、地域別のコーディネーターの連絡先のみで、国内ユネスコスクールの活動などの情報はなかった。

【ニュージーランド】 <http://unesco.org.nz/our-work/education>

1) 16校加盟

2)

- ・ 異文化理解
- ・ 平和と人権
- ・ 持続可能な開発を目的とした教育
- ・ 世界情勢と国連の役割

3) - 4) 該当情報なし

*ユネスコスクール概要のみで国内ユネスコスクールの活動などの情報はなかった。

【インドネシア】 <http://aspnetind.org/public/index.php/asp-school-in-indonesia>

1) — 2) 該当情報なし

3)

- ・トニーブレア財団からの支援

- ・ありがとうインターナショナル（東京に本部をおく国際的に活動する NGO）

- ・iEARN (International Education and Resource Network)

インターネットなどを使って生徒・学生や教育者の情報交換や協働プロジェクトを支援する非営利組織。125 カ国、30,000 以上の学校が参加。毎日 2 百万以上の生徒が外国との協働プロジェクトに取り組んでいる。

- ・世界遺産教育

1994 年開始のユネスコ特別プロジェクト「世界遺産の保存と振興への青少年の参加」によって、若い世代が世界遺産について知り、意見を持ち、また環境問題や生物多様性保護の重要性についても学ぶことを目的とする。

- ・モンディアロゴスクールコンテスト

モンディアロゴとは、イタリア語の"Mondo"（地球）と"Dialogo"（会話）を合わせた造語。2003 年にダイムラー・クライスラー社とユネスコによって始められた隔年に行われるコンテスト。

144 カ国から 10 万人以上の生徒が参加。

- ・インドネシアの GigaPan プロジェクト

Gigapan 映像（高解像度のデジタル画像）の交換を通して文化間の共感と理解を深め、従来のコミュニケーションを超えた感覚の共有を目指す。

【フィリピン】

※調査時のサイトの URL は現在みられない http://unesconatcom.gov.ph/aspnet_frnt.html

⇒ユネスコフィリピン国内委員会のサイト <http://www.unesco.gov.ph/content/article/Home>

1) 21 校と 8 組織が加盟

2) 該当情報なし

3)

- ・子どもと平和構築活動

1990 年の子どもサミット@バーモント、子ども人権会議@ジュネーブ、グローバルリーダー養成プログラム@東京などに積極的に参加

- ・ファミリー識字教育プロジェクト

初歩的な読みを支援し、識字率をあげる学校と親との連携モデルの開発中

- ・平和と世界秩序の研究ユニット

フィリピン師範大学 Philippine Normal University(PNU)が 1990 年に学校の要望から平和と世界秩序の研究ユニット Peace and World (PWOSU)を作った。新しい世界観、グローバリゼーション、民主主義の台頭、平和や国際相互理解を促す方策について考える。

- **ユースキャンプ**

フィリピン師範学校のユースボランティアプログラム「地域社会発展とエンパワーメントにおける生徒と教師の役割」の一週間のユースキャンプを国内各地で実施。

- **マニラ首都圏のミリアム大学**

平和文化の構築を最重要目標とし、アジア太平洋国際理解および価値教育のネットワーク Asia-Pacific Network for International Education and Values Education(APNIEVE)の本部をおく。1995年に設立され、アジア太平洋のユネスコ加盟国と協力して教材とケーススタディの開発を支援している。

- **What Education for What citizenship プロジェクト**

人権や民主主義について話し合う。

- **ASPnet 環大西洋奴隷貿易プロジェクト**

アフリカから強制的に連れ去られた人々が米国で奴隷として売買された歴史事実について学び、現在、形を変えて存在している奴隷制度を排除する必要性について意識を高める。フィリピンからは8校参加。

4) 該当情報なし

【韓国】 http://www.unesco.or.kr/eng/front/programmes/programmes_01.asp

1) 1961年 ASPnet 加盟。120校以上

2)

- 世界情勢と国際連合システム
- 人権、民主主義、寛容
- 異文化理解
- 環境問題

3)

- **レインボー・ユース地球市民プロジェクト**

平和、人権、異文化理解、環境、国際機関の活動、地域固有の知識、経済分野について学生がよりよく理解できることを目的とする。将来の社会的政治的リーダーを育成するために行われる。各地から20-30のプロジェクトが選定され、助成される。

- **アジア RICE プロジェクト**

RICE とは Regional Initiative for Climate change Education 気候変動に関する教育のための地域イニシアチブ。アジアの後発開発途上国や開発途上国で気候変動について小規模で地域社会未基づいたプロジェクトを行うことを目的とする。韓国ユネスコ国内委員会、韓国エネルギー管理公団、隊・チェンマイ YMCA からの補助金、技術援助、知識の共有によって、学校と地域社会の協働プロジェクトを支援する。

- **模擬ユネスコ会議**

ESD を効果的に実施し、中学生の地球規模の問題に対する理解を深めるため、韓国ユネスコ国内委

員会(KNCU)は2010年から模擬ユネスコ会議を開催している。

- **異文化認識プログラム Cross-Cultural Awareness Program (CCAP)**

1998年以來、韓国の学生と韓国在住の外国人の間で、異文化の共有と建設的な協力関係の構築の機会を提供してきた。全国200の学校で通訳ボランティアの協力のもと、外国人ボランティアが定期的なCCAPの授業を行った。外国文化に触れることの少ない地域には、特別編成されたキャラバン隊を派遣した。

- **ユネスコ東アジア子ども芸術祭**

2001年以來毎年開催。多様な文化や伝統を持つ国々間の交流と理解を促すことにより、幅広い文化的背景を持つ若者間で相互理解と平和の相互作用を促進するために行われている。韓国、中国(香港を含む)、日本、モンゴル、マカオ特別行政区の子どもたちが参加。

4)

- **教員の交換研修プログラム**

韓国と日本の教員、学校関係者、教育に関連のある機関の職員などを対象に、1~2週間の日程で2011年にそれぞれのESDの取り組みを視察する目的で行われた。

- **第三回ESDに関する日韓教員フォーラム**

2011.8 日韓の教員約100名が参加し、お互いのESDの取り組みの発表や指導マニュアルの共有をした。

- **教員研修コース**

1996-2000年、毎年8月に7-10日間の国際理解教育についての研修を実施。16の市の教育委員会から推薦を受けた役40-60名の小中学校教員が参加した。

- **国際理解協力の「体験学習」プログラム**

教育プログラムに関する創造的なアイデアの募集。3年間で16のユネスコスクールが約25000ドルの資金を受けた。

教員、学生、保護者、博物館職員が、博物館をどのように体験学習に取り入れることができるかを考えるもの、人権、平和、環境、異文化認識などのCCAPに関わる講義とワークショップがあった。

- **ユネスコ信託基金制度の利用**

ベトナムの先進的取り組みを財政支援、韓国・モンゴル国際青少年フォーラムやユースキャンプを行う。

- **韓国ASPnetに関係する2つの交流プログラム**

ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)国際交流プログラムへの韓国人教員の参加。2001年、日本に派遣され、日本の教育制度などを学んだ。

アジア・太平洋地域ASPnet交流プログラムへの参加。2001年9-10月に中国、モンゴル、韓国で実施。

- **ベトナム文化とベトナム戦争の理解のためのプログラム**

2000.7.15-16、Kuwi中学校の生徒たちが参加。通訳としてベトナムと韓国の大学生も参加。ベトナム人スタッフと歌や料理をたのしむなど同国の文化を学んだ。リーダーとなったMoon氏制作のベトナム戦争についてのドキュメンタリーを見たり、戦争について話し合った。

【エジプト】

<http://en.unesco.org/aspnet/globalcitizens/act/projects/raising-awareness-climate-change-and-risks-egypt>

1) - 2) 該当情報なし

3)

・ユネスコスクールおよびユネスコクラブの学生の気候変動とリスクに関する倫理原則に関する意識の向上

指導者養成、学生の研修コース、学生の植樹、ワークショップを通じた意識向上の四段階からなる。

4) 該当情報なし

【イタリア】 <http://www.unesco.it/cni/index.php/associated-schools>

1) 1957 年開始

2) - 4) 該当情報なし

*ユネスコスクール概要のみで国内ユネスコスクールの活動などの情報はなかった。

【イギリス】 http://www.unesco.org.uk/unesco_associated_schools

1) 2005 年に再加入、75 校加盟

2)

- ・世界情勢と国連の役割
- ・持続可能な開発を目的とした教育
- ・平和と人権
- ・異文化理解

3)

- ・太平洋奴隷貿易教育プロジェクト

4)

・「若者の手にある世界遺産教育キット」の開発

文化遺産や自然遺産の保護に対する意識を高めるため、このキットを開発した。世界中のユネスコスクールが制作に関わり、30 の言語に翻訳されている。

・「遺産の意味の理解」プロジェクト

2009 年より 3 年間、学生にイギリスの世界遺産について効果的に学べるよう始められた。イギリスユネスコ国内委員会、文化・メディア・スポーツ省(DCMS)、ジュラシック・コースト世界遺産から共同で資金援助を受けている。

・国連に関する教材セット

国連の仕事のうち、平和と安全保障、貧困と持続可能な開発、人権の 3 つのテーマに分けて、学べる教材。模擬国際連合シミュレーションも含まれている。

【アメリカ】 <http://www.state.gov/p/io/unesco/c18952.htm>

1) 該当情報なし

2)

- ・世界の課題とアメリカの役割
- ・持続可能な開発のための教育
- ・平和と人権
- ・異文化理解

3) — 4) 該当情報なし

*ユネスコスクール概要のみで国内ユネスコスクールの活動などの情報はなかった。

【香港】 http://unesco.hk/index_topic.php?did=192118&didpath=/192114/192118

1) 2009 年以降、50 以上の学校の 3000 人以上が参加。

2)

- ・持続可能な開発の実践への意識を高める
- ・持続可能な未来に向けての行動を促進する
- ・コミュニケーションスキルと問題解決能力を伸ばす
- ・環境、経済、文化、地域社会と持続可能な開発について広い視野で学ぶ場を提供する

3)

・ **公共空間の設定**

持続可能な公共施設やその他建築物、廃棄物を出さない暮らし方などについて考える。

・ **環境問題**

環境保全や有機農法を持続可能な成長との関係において考え、問題意識をもつ。

・ **精神的健康**

精神的な健康と持続可能な発展やそれが地域に及ぼす影響との関係に気づく。

・ **観光とホスピタリティ**

自分たちの文化、経済、環境や地域における観光産業の意味について考える。

・ **生命教育**

命の大切さを理解したり、自己理解や人との関わりを大事にしたりすることを学ぶ。

4)

上記五つの項目に関して、ユネスコ香港協会ウェブサイトにて年度ごとの報告がある。

【ラトビア】

<http://www.unesco.lv/en/education/associated-schools-project/associated-schools-project-1/>

- 1) 1989年から11の教育機関が参加。
- 2) - 4) 該当情報なし

*ユネスコスクール概要のみで国内ユネスコスクールの活動などの情報はなかった。

【マレーシア】

http://unesco.org.my/1/index.php?option=com_content&view=article&id=452&Itemid=119

- 1) 現在26校加盟
 - 2)
 - ・世界情勢と国連の役割
 - ・人権、民主主義、寛容
 - ・異文化理解
 - ・環境問題
 - 3)
 - ・生物多様性ジャングル（ランチャン、2004）
 - ・河川関連（エンダウ・ロンピン国立公園、2005）
 - ・島（パンコール島、2006）
 - ・洞窟（ムル洞窟、ミリ、2007）
 - ・マングローブ林とジオパーク（ラル・マタン・マングローブ林およびランカウイ国立公園、2008）
 - ・高地（キナバル国立公園、クンダサン、2008/2009）
 - 4)
 - ・国立生物学センターでの6日間のキャンプ旅行。2004.8
 - ・教員研修。2005.9.25-30
 - ・河川探検プログラム@エンダウ・ロンピン国立公園。2005.7.15-18
 - ・国立パンコール島探検。2006
- その他、他国の国内委員会との共同プログラム多数。

【アゼルバイジャン】

<http://www.mfa.gov.az/?language=en&options=content&id=556>

<http://en.trend.az/azerbaijan/politics/2198748.html>（国連総長イリナ・ボコバ氏のインタビューのニュース記事）

- 1) 学校のリスト（18校）は存在するが、これが全てであるかは不明
- <http://www.unesco.org/comnat/azerbaidjan/eng/anc/network.shtml>

2) - 4) 該当情報なし

国内ユネスコスクールの活動などの情報はなし。

【キプロス】

http://www.unesco.org.cy/Programmes-UNESCO_Associated_Schools_ASPnet,EN-PROGRAMMES-01-02,EN

- 1) 1969-1970 から参加、現在 20 校加盟
- 2) 世界遺産（キプロス世界遺産サイトに関する教育）
- 3) 該当情報なし
- 4) 無形文化遺産に関する意識を高めることをテーマとし、活動するとの指針。2011-2012

【エストニア】

<http://www.unesco.ee/the-unesco-associated-schools/>

- 1) 該当情報なし
- 2)
 - ・世界の紛争地域と、紛争解決における国連の役割
 - ・人権、民主主義、および寛容性
 - ・文化間学習と文化間理解
 - ・環境、および持続可能な開発
- 3)
 - ・ **模擬国連総会**
 - ・ **学生科学会議**
 - ・ **バルト海プロジェクト**
バルト海周辺にある学校間のネットワークであり、環境問題の研究と持続可能な開発に関する教授活動を考案するために協力している。2012 年秋から 3 年間はエストニアが国際コーディネートを担当。
- 4)
 - ・ **ユネスコスクールを支援している団体：市民団体 Mondo**
エストニアで活動している主要な市民団体のひとつで、グローバル化がもたらす問題についてエストニア人の意識を高めること、寛容性、人権尊重、世界のより貧しい地域に住む人々との連帯感を高めることを目標とし活動している。エストニア開発協力円卓会議の一員でもある。

【トリニダード・トバゴ】

<http://unesco.org.tt/about/education-2/unesco-associated-schools-project-network-aspnet/>

1) 該当情報なし

2)

- ・世界情勢と国連の役割
- ・持続可能な開発を目的とした教育
- ・平和と人権
- ・異文化理解

3)

・**環大西洋奴隷貿易プロジェクト**

奴隷制度と奴隷貿易という不名誉な過去について知り反省するとともに、近代的な形での奴隷制と人権侵害を理解する。

4)

・**教員向けワークショップ@トリニダード・トバゴ大学 2014.4.4**

セント・ルシア、フレンチ・ギアナ、ガーナ、韓国からも参加

・**ASPNet60周年記念国際フォーラム@韓国に参加 2013.9.7-9**

・**学校交流訪問**：イングリッシュ・エクストリーム・スクール（クバタン、ブラジル）の教員と学生を受け入れ、気候変動に関するワークショップ開催 2013.1

・**学校交流訪問**：ノルウェー学校（アlicanten、スペイン）とセント・ジョージ・カレッジが交換訪問 2010.2

【リトアニア】 <http://www.unesco.lt/component/content/article/77/199-contact-information>

1) 1997年から

2) 該当情報なし

3)

・**バルト海プロジェクト**

バルト海周辺にある学校間のネットワークであり、環境問題の研究と持続可能な開発に関する教授活動を考案するために協力している。

4)

・国内委員会がFAO発行の「食料への権利、世界の窓」を配布。若者に飢餓と栄養不良に関する知識を与え、意識を高めるねらい。

・国内委員会がINEP、ユネスコ、WHOが共同で立ち上げ発表した「オゾン・アクション教育パック」を配布。子どもたちが、オゾン層や、安全に太陽光を活用することについて学べる内容。

・人権教育およびEU諸国と地中海沿岸諸国間の対話に関する教員訓練セミナーにギムナジウムの教員らなどが参加。

・「EFAアクションウィーク：人権としての教育」リトアニアで4度目の開催 2007.4.23-29

・無形文化財ユースサマーキャンプ 2007

12 のユネスコスクールから選ばれた 80 名の子どもたちが参加し、リトアニアの様々な地域の文化を共有した。

・ブリッジズオブテイルズプロジェクト **Bridges of Tales**

バルトと南コーカサスの州に伝わる 6 つのお話をユネスコスクールの子どもたちがまとめたもの。英訳もされている。

・「若者の手にある世界遺産教育キット」

リトアニア語版を国内のすべての中学校に配布。

【ブルガリア】 http://www.artofsynergy.hit.bg/1999/main_1.html (閲覧不可)

1) — 3) 該当情報なし

4)

・ユネスコブルガリア国内委員会、ASPnet、教育科学省企画・主催「アート・オブ・シナジー」**1999.7.10-17**

寛容性とパートナーシップを学ぶことを目的とし、学生や教員を対象としたワークショップ、アート、スポーツや娯楽からなる活動が行われる。

・「アート・オブ・ユネスコ・シナジー II」(ルセ、ブルガリア) **2002.5.16-23**

・学生・教員対象国際サマー・キャンプ「寛容性とパートナーシップを学ぶ」(スモーリャン、ブルガリア) **2003.7.9-17**